

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所（新庁舎） 4階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 4月19日（日）

新しい年度の始まりにあたり、家族そろって食事をとりながら、互いの学校や職場の様子について語り合い、充実した年度になるようにしましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

「困ったことがあったらな・・・」

千曲市教育委員 中村 洋一

映画「男はつらいよ」の第五十作が二十二年ぶりに封切られた。寅さんは、甥の満男が生きる今に、人生のお手本としてではなく、なんだか安心する、そばにいて寄り添ってくれるおじさんとして「お帰りなさい」と迎え入れられている。

第六作では、故郷に帰れば何とかなると甘えた自分を責める台詞が乾かないうちに、五島列島から最終の渡し船に乗ってすぐ帰ってき。第七作では、「俺はもう二度と帰ってこねえからな。夏になたら鳴きながら、必ず帰ってくるあのツバクロさえも、何かを境にぱたり姿を見せなくなる事だぞ」と心にもない啖呵を切った直後に、とらやに帰って来た。「男はつらいよ」は、フーテンの寅さんが「帰ってくる物語でもある。

「フーテン」は、もとは「瘋癲」と書いたとか。元来は、かなりネガティブな意味を持つ語だったけれど、寅さんのおかげで、定まった仕事や住所を持たなくてちよっと困った人だけど、どこか憎めず、おつちよこちよいで、面倒見がいい、人間くさいイメージを表す語になったのだと思う。

寅さんの満男へのアドバイスや応援は、ぜんぜん頼りにならず、時にはメイワクなものだった。第三十九作で、満男に生きる意味を問われて、「ああ生まれてきて良かった、そう思うことが何べんかあるだろう？そのために生きてんじゃねえか」なんて、答えになっているような、いないような・・・。

第四十三作で「困ったことがあったらな、風に向かって俺の名を呼べ」と満男に伝えている。風に向かって寅さんの名前を呼んでも、なんとかなるわけじゃない。だけど、なんだか、そばにいて欲しい気持ちも良く分かる。

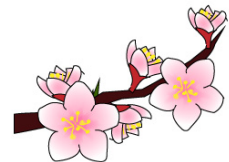
未知の課題に立ち向かう子どもたちに、何かしてあげる自信はないけれど、「困ったことがあったらな、風に向かって俺の名を呼べ」と言えるようなおぢいちゃんには、なりたいたいと思う。

～本年度の「千曲市少年育成センター」事業について～

1. 少年補導委員さんのメンバーが変わりました。
20名の新しい補導委員さんを迎え、30名の体制で補導委員会が出発します。
※任期は令和2年4月から令和4年3月まで（2年間）
2. 「少年育成センター」事業について
 - ①組織構成
 - ・千曲市少年補導委員 30名（9小学校区代表）
 - ・育成センター職員（教育部長・生涯学習課課長・係長・職員・社会教育指導員・教育総務課職員）
 - ②街頭補導活動
 - ・定例補導活動、合同補導活動、祭事補導活動（直接活動）
 - ・環境浄化活動（環境チェック活動、有害自動販売機NO宣言活動、無人施設や危険個所等の巡回）
 - ③補導活動の啓発事業
 - ・育成センターだよりの発行、HPへの掲載、有線放送などの自主制作番組へ提供、「家庭の日の案内」
 - ④青少年健全育成運動（活動）
 - ・「愛の声かけ運動」「暴走族追放強化月間」「青少年の非行・被害防止全国強化月間」「有害環境浄化活動強化月間」「麻薬・覚せい剤乱用防止運動月間」「子ども・若者育成支援強調月間」
 - ⑤会議・研修
 - ・「定例育成センター会議」及び「定例補導委員会」の開催、「補導委員研修会」の開催、各小中学校への訪問による啓発活動、「県青少年補導活動推進大会」等への参加、「県青少年健全育成県民大会」への参加
 - ⑥育成センターでの少年相談活動等



補導日誌から



宇和島からの心温まるプレゼント

2月3日（月） 3:00pm～5:00

補導に行く時、庁舎の玄関入ったところに宇和島市遠見子ども会から届いたみかんは支援センターを通じて配られたと書かれてありました。みかんには「がんばれ」「笑顔」「災害に負けるな」等、字が書いてあり、いただいた子ども達は嬉しかっただろうと思いました。遠く離れていても心温まる言葉にこちらも心がほっこりしました。

愛しい気持ちの芽生え

2月3日（月） 3:00pm～5:00

今日は節分、更級児童館へお邪魔しました。4月に子ども達へ新年度のあいさつに来て以来の訪問です。次は宿題の時間、各々カバンからノートを取り出し学年毎に分かれている場所ですぐに始めました。児童館は、規則正しく友達と宿題に取りかかれるのでいいなと思いました。漢字の書き取りをしている子等に「きれいに書いているね。上手だね」と声をかけると、乱雑に書いていた子もていねいな字になります。誉められると誰でも嬉しいものです。きれいな字に変わっていく子を見ていると私も嬉しい気持ちになりました。というのも、この2年間の補導委員の活動を通して、すべての子ども達に対して孫の様な愛しい気持ちが芽生えたからです。そうした心になれたことは私にとって良かったことだと思っています。

微笑ましい子どもたち

2月4日(火) 3:00pm~5:00

内川公園では、乳母車の母子、子どもはヨチヨチ歩いて可愛い笑顔でした。少し遅れて中学生男子1人がバスケットをはじめた。また、中学生が二人東屋で飲み物、お菓子持参でおしゃべりし始めました。市役所への帰路途中で小学生の下校を見ると仲良く話しながら、危なげない程度のふざけ合いをしている姿を見れました。中学生は試験で早く帰っていたのかなと思いました。

ライポくんメールの事案を入念にチェック！ 2月5日(水) 3:00pm~5:00

事務局より1月27日県立歴史館付近からあんず街道上で女子生徒が自転車に乗った男に追いかける事案に関して説明を受けました。駅前交番では、オレオレ詐欺について注意喚起がありました。県立歴史館付近の事案に関しては新しい情報が入っていないとのことでした。

警察と連携しあって子ども達を守る！ 2月6日(木) 3:00pm~5:00

交番に立ち寄ると架空料金請求詐欺の被害がとまらないのでご協力いただきたいとお話あり、プリントを頂きました。この手の詐欺の被害者はインターネットを使いこなす若者世代が多いとのこと。今や小学生でもパソコンやスマホを使う時代です。まずはまわりの大人がこのような犯罪があることを子ども達に伝えて、被害にあわないためにどうしたらいいのか教えていく必要があると思います。

健全な子どもの成長を目指して！ 2月17日(月) 3:00pm~5:00

非行・補導に至る心配される問題事例はありませんでした。子供たちの下校姿を見ようと思ったが少なかったです。下校途中の小学校高学年女子に車を止めて横断を優先させたら、横断後に車に向かって笑顔で深々と頭を下げてくれた。そんな姿が微笑ましく健全な成長を感じることができました。

売店(ウエルカムステーション)の係員さんのお話では、「高校生に出入口に立たれるので、お客様の出入りが邪魔になりちょっと困ります。怖くて声がけできない場合があります。」と現状の問題を話して頂きました。

戸倉地区の公園で・・・

2月19日(水) 3:00pm~5:00

内川公園では一組の若い夫婦が生まれたばかりの赤ちゃんを抱き、2歳ぐらいの男の子を連れて遊びに来ていました。また、5、6年ぐらいの女の子3名が屋根のあるテーブルで宿題をやっている姿が印象的でした。上徳間公園は仮オープンしたばかりの公園ですが、近所の子供か割と大勢の人が来ていました。その中に制服姿の中学生の女の子が2名いましたが、「学校帰りに公園に寄らないよう」注意できなかったのが残念でした。今井公園では珍しく5名の小学生が遊んでいました。

お知らせ

本年度から「育成センターだより」が年4回となります！！

- ① 昨年度まで毎月市民の皆様には『回覧』等で見て頂いていた『育成センターだより』が本年度より6月・9月・12月・3月の4回の発行となりました。市民の皆様には子ども達の様子や青色パトロールでの巡回補導の様子、「わたしのゆめ」等、内容も工夫してお知らせしてまいりたいと思います。回数は少なくなりますが、今後ともご愛読のほど、よろしくお願いいたします。
- ② 新型コロナウイルスの感染拡大により、3月2日から休校となった市内小中学校。何とか終業式・卒業式はやれたようですが、この1か月間、子ども達はどんな生活を送ったのでしょうか。4月から元気な子ども達の声が学校中に響いていることを期待しています。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介합니다。

「中学校での目標」

白石 ゆい

今、私は剣道クラブに入っていて、6年生になったらキャプテンです。そこで、中学生になったら目標があります。

1つ目は全日本大会出場です。さすがに1位は無理かもしれませんが、練習を生かして1試合でも多く勝ちたいと思うからです。

2つ目はまとめる力をさらにつけ、キャプテンになることです。中学校でも、やると決めたら「いやだな。」ではなく、進んで取り組みたいです。

この2つが中学での私の夢です。

「将来の夢」

合津 梨紗

私の将来の夢はファッションデザイナーです。理由は小さい頃から絵をかくのが好きだったからです。また、デザインを考えるのも大好きだからです。そしてなりたいたと思った1番の理由は、どうすればあんなにカワイイ、カッコイイ、ステキなデザインがかけられるだろうとずっとあこがれていたことです。わたしもそんなデザイナーさんみたいになりたいなと思ったのです。

私は人を元気にできるようなカワイイ、カッコイイ、ステキなデザインをみんなに届け、みんなを笑顔にしたいです。

「将来の夢」

勝山 遙人

僕の将来の夢は、自動車エンジニアになることです。理由は小さい頃からモノを組み立てるのが得意で、今もモーターや部品をつくるのが好きだからです。また社会の授業で環境に優しい自動車についても勉強しました。環境に優しく、次世代の自動車を開発するプロジェクトに関わり、出来上がった車が多くの人に乗ってもらって喜んでもらえるとうれしいです。

「最上級生としての目標」

中嶋 悠宇

僕の最上級生としての目標は、下級生から頼りになる6年生になることです。自分が下級生の頃はわからないことや困ったことがあると6年生に助けてもらいました。今度は自分が下級生の頼りになりたいと思います。また、下級生のお手本となるような6年生になりたいです。下級生は6年生の姿をみて行動すると思います。最上級生として学校生活の中でのルールなど当たり前のことをしっかりとやり、下級生のお手本になれるようにがんばっていきたいと思います。